

令和5年度

社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告書

令和5年度の矢巾町社会福祉協議会は、第2期矢巾町地域福祉活動計画に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる町」を目指して、行政や専門機関、地域住民や福祉団体、ボランティア等、地域に関わるすべての人々が協働して互いに支え合う活動を強化し、矢巾町が目指す「やさしさと思いやりに満ちたまちづくり」に向けて活動を展開しました。

特に、新型コロナウイルス感染症が第5類となったことにより、居場所や交流の場を求める住民のニーズがより明確化し、福祉イベントやボランティア活動、各福祉団体の活動など新たな形で住民主体の地域活動を展開することができました。また、町外のボランティア団体やサロン活動との交流の輪も広がり、今後の活動への意欲につながりました。

生活支援体制整備事業では、専任の生活支援コーディネーター（以下「SC」という。）（第1層）が中心となり、第2層SCと共に情報収集と課題解決に努め、支援の必要な高齢者等の日常生活を地域で支え合う仕組みづくりを推進しました。地域の居場所への訪問活動や運営支援、新たな地域の居場所の結成支援により、各地域で多様な住民主体の活動が展開されました。また、町が実施する短期介護予防事業「リアクト」への参加により、高齢者個人の悩みや地域課題を把握し、心身の健康維持のための地域活動へつなぐとともに、新たな地域活動の結成にもつなげることができました。

様々な理由により支援を必要とする世帯に対しては、生活福祉資金や生活困窮者自立支援事業（どちらも岩手県社会福祉協議会）やたすけあい金庫の貸付事業など、相談を受け止めるとともに支援を行いました。町が実施する重層的支援体制整備事業の3つの柱である包括的相談支援事業、参加支援事業、地域づくり事業を共に展開し、社会福祉協議会の機能を発揮しながら住民のあらゆる課題に対応しました。経済的に困りごとのある子育て世帯を対象として、フードパントリーやフードドライブ&サニタリードライブ事業を実施し、地域住民の理解と協力のもと、一体となって暮らしを支える活動を展開しました。令和4年6月に開設した公式LINEは、情報発信やチャットによる相談、ボランティア連絡調整など、より身近なツールとして着実に成果をあげています。

自主財源の確保については、本会主催のイベントやホームページで賛助会員への協力の呼びかけを行うと共に、町内事業所の訪問や各種団体、個人などに対し本会の趣旨を説明し、新たな賛助会員の獲得に努めました。

1 法人の運営

(1) 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第1回 令和5年 5月25日	理事10名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認について ・ 令和4年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第1回評議員会の招集について
第2回 6月15日	理事11名 監事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会会長、副会長の選任について
第3回 12月13日	理事10名 監事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第1号(案)について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会健康福祉まつり表彰規程の一部改正について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
第3回 令和6年 2月27日	理事12名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員賠償責任保険契約について ・ 令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画(案)について ・ 令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出予算(案)について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第3回評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第1回 令和5年	評議員19名 理事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認について

6月15日	監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会理事の選任について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会監事の推薦について
第2回 12月21日	評議員18名 理事2名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第1号(案)について ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
第3回 令和6年 3月8日	評議員19名 理事3名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画(案)について ・ 令和6年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出予算(案)について

(3) 監事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第1回 令和5年 5月2日	監事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告について 社会福祉協議会、児童館、居宅介護支援事業所、生きがい対応型デイサービス、こびりっこサロン事業 ・ 令和4年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算書類について ・ 社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業 ・ 令和4年度寄付者の状況 ・ 令和4年度福祉基金積立金の状況 ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会預金残高証明書(令和5年3月31日現在) ・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会運営点検表
第2回 7月27日	監事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ・ 社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業
第3回 10月25日	監事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ・ 社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業
第4回 令和6年 1月24日	監事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ・ 社会福祉協議会事業、共同募金事業、たすけあい金庫事業、居宅介護事業、児童館事業

(4) 令和5年度社会福祉法人指導監査

期 日 令和6年1月30日

場 所 社会福祉協議会相談室

監査委員 岩手県保健福祉部地域福祉課 主任主査 佐々木 達也 氏

同 監査指導専門員 葛西 久子 氏

出席職員 佐藤由子事務局長、小松晃事務局次長

(5) 会長・副会長会議の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第1回 令和5年 8月31日	会長1名 副会長2名	・ 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会下半期事業について（金婚式、役員研修会、ボランティアのつどい） ・ 社会福祉協議会会長表彰式について ・ 福祉車両の廃車について ・ 子ども川柳選考について ・ 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程について
第2回 9月15日	会長1名 副会長2名	・ 福祉車両について ・ 金婚式について

(6) 評議員選任・解任委員会の開催状況

期 日 令和5年6月9日

議 題 評議員選任・解任委員会委員長並びに副委員長の互選について
社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員4名の選任について

(7) 苦情解決への取組み状況

①苦情受付委員会の開催

期 日 令和5年7月10日

出席委員 星川範男委員、久慈妙子委員、川村利津子委員

出席職員 佐藤由子事務局長

②苦情受付状況について

受付苦情件数 4件（社会福祉協議会3件、児童館1件）

事故報告件数 4件（児童館4件）

※令和4年7月～令和5年7月委員会開催まで

(8) 財源確保に関すること

①社会福祉協議会会費

ア 世帯会費の納入結果

令和5年5月から、行政区長の協力を得て世帯会員の会費納入運動を行いました。また、その際には各世帯に「矢巾町社会福祉協議会（しゃきょう）の福祉のサービス」パンフレットを配付しました。

- ・ 41行政区 11,046世帯
- ・ 6,201,000円（前年度 6,241,000円）

イ 法人賛助会費の納入結果

令和5年8月から、法人賛助会員の募集と会費納入運動を行いました。募集の際には「矢巾町社会福祉協議会（しゃきょう）の福祉のサービス」パンフレットを配付し、会費納入のあった事業所は「やはばのふくし」及びホームページに掲載しました。

- ・ 町内外事業所 204社（前年度 201社）
- ・ 603,000円（前年度 575,000円）

ウ 個人・団体賛助会員の呼びかけ

②令和5年度全国一斉「赤い羽根共同募金」運動の展開

令和5年10月から、全戸にパンフレット「赤い羽根 News」を配布するなど、赤い羽根共同募金運動を展開しました。

目 標 額 5,000,000円

実 績 額 3,746,306円

目標達成率 74.9%

募金種別	募金額（円）	協力機関等
戸別募金	3,061,000	町内各行政区
法人募金	482,000	町内事業所
学校募金	57,546	町内各小学校、高等学校、大学、支援学校
職域募金	14,220	矢巾町役場（関係機関含む）、社会福祉協議会
イベント募金	74,842	バリアフリー映画会、シニアマレットゴルフ大会、チャリティーゲートボール大会、ふれあい広場
その他の募金	56,698	町内募金箱、赤い羽根自販機、個人募金
合計	3,746,306	

③令和5年度歳末たすけあい共同募金運動

目 標 額 2,500,000 円

実 績 額 2,545,370 円

目標達成率 101.8%

募金種別	募金額（円）	協力機関等
戸 別 募 金	2,430,400	町内各行政区
職 域 募 金	12,000	町内事業所
イベント募金	68,870	矢巾町連合婦人会、矢巾中央幼稚園保育園父母会
団体・個人募金	34,100	矢巾町ともしび会、個人募金
合 計	2,545,370	

④社会福祉協議会福祉基金

財政基盤を確立し、安定した財源の確保による地域福祉活動の展開を目指して、福祉基金の充実を図りました。

令和5年度新規積立金 2,031,188 円（寄付 17 件）

令和5年度取崩金 2,216,000 円

現在の福祉基金（R6.3.31） 49,771,673 円

(9) 役職員研修等の参加状況

①外部研修

期日	研修・委員会名	参加人数
令和5年4月18日	県央地区社協連絡協議会総会	3名
令和5年5月19日	第1回矢巾町地域福祉推進審議会	5名
令和5年5月24日	矢巾町教育振興運動推進委員会定期総会	1名
令和5年5月25～26日	第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修	1名
令和5年6月16日	矢巾町交通安全対策協議会	1名
令和5年6月28日	やはば生活支援ネットワーク事業推進協議会研修会	1名
令和5年7月10日	岩手県生活支援体制運営研修	2名

令和5年7月11日	ファシリテーション研修会	1名
令和5年7月29日	県央地区社協災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練	1名
令和5年8月3日	市町村社会福祉協議会会長懇談会	1名
令和5年8月21日	矢巾町重層的支援体制整備事業研修会	1名
令和5年8月23～24日	県央地区社協連絡協議会先進地研修	1名
令和5年8月29日	県央地区社協連絡協議会職員研修会	1名
令和5年8月31日	矢巾町男女参画推進学習会	1名
令和5年9月26日	盛岡市地域共生社会推進フォーラム	1名
令和5年10月17日	第2回矢巾町地域福祉推進審議会	5名
令和5年11月16日	第76回岩手県社会福祉大会	12名
令和5年11月19日	矢巾町教育振興運動推進委員会・矢巾町子ども会育成会連合会合同研修会	1名
令和5年11月20日	共同募金市町村職員研修会	1名
令和5年12月5日	生活困窮者支援研究会	1名
令和5年12月5日	依存症支援者研究会	1名
令和5年12月7～8日	第2回生活福祉資金貸付事業担当職員研修	1名
令和5年12月13日	第3回矢巾町地域福祉推進審議会	5名
令和5年12月19日	岩手県と市町村社会福祉協議会部会との懇談会	1名
令和6年1月12日	成年後見制度普及・権利擁護体制整備研修	1名
令和6年1月17日	ひとり親家庭等サポートネットワーク会議(盛岡地域)	1名
令和6年1月22日	市町村社会福祉協議会管理指導職員研修	1名
令和6年2月5～6日	重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業地域づくり実践研修	1名
令和6年2月7日	第4回矢巾町地域福祉推進審議会	5名
令和6年3月21日	地方創生懇談会	1名
令和6年3月22日	市町村社会福祉協議会部会総会	1名

②矢巾町社会福祉協議会役職員研修（内部研修）

期 日 令和6年1月29日

出席者 42名（理事10名、監事3名、評議員13名、職員15名、一般参加（矢巾町更生保護女性の会会員）1名）

内 容 若者支援について～もりおかユースポートの活動～
特定非営利活動法人もりおかユースポート・もりおか若者サポートステーション 主任相談員・社会福祉士 菅原 征和 氏

2 地域福祉活動

住民の福祉ニーズを的確に把握するため、民生児童委員協議会定例会やケアマネ・サービス事業所合同連絡会等関係機関と連携し、福祉問題の把握に努め、身近な情報を発信しました。また、町内社会福祉法人等が協働して地域における公益的な取組みを行う「やはば生活支援ネットワーク事業推進協議会」やボランティア、福祉団体、地域住民などとのネットワークを強化し、誰もが地域の中で安心して暮らせるように取り組みました。

（1）広報活動

①広報紙「やはばのふくし」の発行 年4回

- ・ 第148号 令和5年4月1日発行
- ・ 第149号 令和5年6月1日発行
- ・ 第150号 令和5年10月1日発行
- ・ 第151号 令和6年2月1日発行

②ホームページによる情報発信

③「矢巾町社会福祉協議会（しゃきょう）の福祉のサービス」パンフレット全戸配布

④公式LINEによる情報発信

（2）地域福祉ネットワーク活動

①やはば生活支援ネットワーク事業

日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方を支援するため、町内の9社会福祉法人、1医療法人が、地域における公益的な取組を協働で実施しました。

ア ネットワーク会員

- ・ 社会福祉法人：敬愛会、新生会、爽生会、睦喜会、矢巾親和会、土淵朗親会、いちご会、吉祥会、矢巾町社会福祉協議会
- ・ 医療法人社団帰厚堂

イ 日常生活支援（おつかいサービス）

月に一度、各法人の車両を利用して、町内の高齢者、障がい者等の日常生活必需品や食料品の買い物のための送迎サービスを実施しました。

- ・ 利用登録者数 17名（前年度21名）
- ・ 利用延べ人数 141名（前年度103名）

ウ 生活困窮者支援

日常生活や就労、経済上の課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方へ、光熱水費、転居費用、食糧費、燃料費等の生活支援を行いました。

- ・ 支援人数 4名
- ・ 支援総額 123,092円

②住民参加による地域福祉活動

生活支援コーディネーターを中心に、地域住民が互いに支え合う「日常生活たすけあい隊」の結成や、地域の居場所「こびりっこサロン」「コミュニティ食堂（ここかむ食堂）」等の開催といった、住民が主体的に活動できる環境づくりに、住民と共に取り組みました。また、住民の地域福祉活動への参加促進等に関する取組みとして「こびりっこサロン代表者交流会」や、雫石町の住民サロン代表者との交流会を開催しました。

ア 日常生活たすけあい隊事業

- ・ 日常生活たすけあい隊総数 100名（前年度113名）
7単位老人クラブ57名、傾聴ボランティア10名、ふれあい弁当ボランティア18名、声の広報ボランティア7名、おでかけ送迎サービスボランティア8名
- ・ ありがと賞交付数 89枚（前年度66枚）

イ こびりっこサロン事業（やはばおたっしやサロン事業）

ウ コミュニティ食堂（ここかむ食堂）の開催

矢巾町母子寡婦福祉協会有志が中心となり、地域の賛同者や一般・学生ボランティア、企業等の協力を得ながら、大人から子どもまで誰もが集い、温かい雰囲気ですごすことを楽しむコミュニティ型の居場所として開催しました。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより、昼ここかむ食堂では会食を再開しました。夜ここかむ食堂は、お弁当の配布を行いました。

開催日 昼ここかむ食堂（毎月第3日曜日）年11回

夜ここかむ食堂（毎月第2・第4金曜日）年23回

延べ人数 ここかむ食堂ボランティア 290 名（母子寡婦福祉協会会員有志、一般ボランティア、学生ボランティア）

親子 370 組

エ 児童館ここかむ食堂

- ・ 徳田児童館 令和 5 年 8 月 5 日 16 名
- ・ 不動児童館 令和 5 年 12 月 2 日 9 名
- ・ 煙山児童館 令和 6 年 3 月 2 日 22 名

オ 住民に対する学習、地域福祉活動へのきっかけづくりや参加促進に関する取組み
地域の居場所や老人クラブを対象に、支え合いマップの新規作成や更新作業、作成体験を行いました。

- ・ 令和 5 年 10 月 16 日 支え合いマップ更新（不動児童館サロン）
- ・ 令和 5 年 12 月 4 日 支え合いマップ更新（矢巾 1 区サロン）
- ・ 令和 6 年 2 月 26 日 支え合いマップ作成体験（老人クラブ連合会役員研修会）
- ・ 令和 6 年 3 月 12 日 支え合いマップ作成（高田 3 区体操くらぶ）
- ・ 令和 6 年 3 月 12 日 支え合いマップ作成（矢次サロン）

③地域生活課題を包括的に受け止めるための関係機関とのネットワーク強化

多様化する福祉ニーズを包括的に受けとめ、解決につなぐことができるよう、関係機関会議への出席によりネットワーク強化に努めました。

ア 矢巾町支援調整会議 年 12 回

イ 重層的支援体制整備事業関係会議

- ・ 矢巾町個別支援会議 年 14 回
- ・ 矢巾町重層的支援体制整備事業推進会議 年 2 回

ウ 矢巾町生活支援協議会 年 3 回

エ 地域ケア推進会議 年 1 回

オ ふくし連絡調整会議 年 4 回

(3) 令和 5 年度バリアフリー映画会

日本語字幕、音声ガイド、手話通訳、音量や会場内照明の調整、母子室の利用案内、午前と午後で違う作品を上映する等、大人から子ども、視覚や聴覚に障がいを持つ方など誰もが不安なく映画を楽しんでもらえるように取り組みました。

期 日 令和5年7月8日
場 所 田園ホール
参加者 75名
内 容 午前の部「劇場版ポケットモンスターココ」
午後の部「最強のふたり」

(4) 第42回矢巾町ふれあい広場～今日の出会、紡ぐ未来～

ステージ発表を中心に、会場内に町内福祉施設利用者による作品展示を行うなど、コロナ禍で減ってしまった社会参加や自己実現の場として、誰もが安心して暮らせるやさしい町づくりを目指し開催しました。

期 日 令和5年10月7日
場 所 田園ホール
参加者 約400名
内 容

①矢巾町社会福祉協議会会長表彰

- ・ 長年にわたり地域での福祉活動やボランティア活動に功績のあった方 6名
- ・ 「こんなやさしい町が好き こども川柳」の入賞（最優秀・優秀）児童 8名

②ステージ発表

- ・ 「銀河大太鼓」他（社会福祉法人矢巾親和会やはばこども園）
- ・ Let's enjoy the Music!（KING GUNs and ROGUE GUNs）
- ・ 矢巾音頭・矢巾健康音頭（矢巾町老人クラブ連合会女性部会）
- ・ 募金協力のお願い（ジュニアボランティア探検隊）
- ・ 第三景・南昌源流太鼓（南昌太鼓保存会）
- ・ きららパフォーマンス&福祉のど自慢
- ・ チアダンスパフォーマンス（岩手ビッグブルズチアリーダーRed Charm）

③会場内設置コーナー

- ・ きらら作品展コーナー（町内福祉施設）
- ・ 爪切り屋（フットケア）コーナー
- ・ 菓子、コーヒー販売コーナー（あさあけの園）
- ・ 赤い羽根共同募金コーナー（ジュニアボランティア探検隊）

3 ボランティア活動関係

(1) ボランティアの養成に関すること

①ジュニアボランティア探検隊

町内の小学生（4～6年生）が、社会福祉・ボランティア活動の重要性について、下記の体験を通じて理解を深められるよう取り組みました。

開催年月日	参加人数	内 容
第1回 令和5年 8月10日	小学生4名	就労継続支援A・B型事業所フォレストファーム 障がいのある方と一緒に野菜の収穫や出荷作業を体験してみよう！
第2回 8月26日	小学生3名	岩手医大矢巾キャンパス ・岩手医大のお兄さん、お姉さんと一緒にゲームやトランシーバー体験を通して楽しく防災について考えよう。 ・昼食交流会
第3回 10月7日	小学生4名	田園ホール 「第42回矢巾町ふれあい広場」 ・開会閉会宣言 ・赤い羽根共同募金PR活動（募金額36,955円）

②小学生福祉講座「キャップハンディ体験」

障がい者や高齢者の方々への理解を深め、ボランティア活動を身近に感じることができるよう、各小学校と協力して白杖体験や車イス体験といったキャップハンディ体験を実施しました。

期 日 令和5年9月14日（矢巾東小学校4年生）、11月24日（煙山小学校4年生）

講 師 鍼灸師 村上 直人 氏（白杖体験、視覚障がいについての講話）

③ボランティア入門講座

ボランティア活動に興味のある方、ボランティアを始めたい方向けに、ボランティアの基本的な内容や社会福祉協議会事業に係る内容の講座を開催し、地域に密着したボランティアの育成を行いました。

開催年月日	参加人数	内 容
令和5年 11月10日	6名	・ボランティアとは 岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部ボランティア市民活動センター 主事 菊池 昌也 氏 ・おでかけ送迎サービスについて 矢巾町社会福祉協議会 主事 佐々木 崇臣

		<ul style="list-style-type: none"> ・ やはばりハさわやか会の会活動紹介 やはばりハさわやか会 会長 角館 貢次 氏 ・ 矢巾2区の取り組みについて 矢巾2区コミュニティ会長 佐々木 四士美 氏
11月11日	12名	災害時における高齢者の生活支援について～災害が起こったときにあなたが支援できること～ 日本赤十字社岩手県支部健康生活支援講習指導員 小田切 宏恵 氏

④ボランティア交流会 2024

期 日 令和6年2月27日

内 容

・ 講 演

みんなで学ぼう！ 心の健康ゲートキーパー講座～あなたとあなたの大切な人の心を支えるために～

岩手医科大学医学部 災害・地域精神医学講座 特命助教（保健師）

赤平 美津子 氏

・ みんなで語ろう！

参加者 ボランティア 21名

⑤矢巾町及び一戸町ボランティア団体等交流会

期 日 令和6年3月8日

内 容

・ ボランティア団体を中心とした多機関連携による地域づくり

矢巾町地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 鱒沢 陽香 氏

・ 多機関連携から生まれる地域課題解決に向けた支援

矢巾町社会福祉協議会 主事 間瀬 賢也

・ 矢巾町介護予防・認知症施策推進拠点施設「矢巾町えんじょいセンター」視察

・ グループディスカッション

参加者

一戸町ボランティア 5名、一戸町 1名、一戸町地域包括支援センター4名、一戸町社会福祉協議会 3名、矢巾町ボランティア 9名、矢巾町地域包括支援センター3名、矢巾町社会福祉協議会 2名、第2層生活支援コーディネーター1名

(2) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談、登録、連絡調整、派遣を行いました。コロナ禍により休止していた福祉施設へのボランティア派遣は、傾聴ボランティアの派遣を行うことができました。また、声の広報ボランティア、ふれあい弁当の調理・配達ボランティア、ここかむ食堂ボランティア、おでかけ送迎サービスボランティアは、地域の在宅福祉を支えるため、精力的に活動を行いました。

①ボランティア登録者数の状況

団体 11 団体 (264 名)

個人 12 名

②主なボランティア活動 (社会福祉協議会関連)

ア 声の広報ボランティア

毎月 1 回 (年 12 回) 町広報紙等を朗読し、録音したテープ、CD を視覚障がい者等に配布した。

- ・ 利用登録者数 3 名
- ・ 朗読ボランティア 7 名 (活動延べ人数 41 名)
- ・ 配達ボランティア 3 名 (活動延べ人数 36 名)

イ ふれあい弁当ボランティア

一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、ボランティアによる配食サービス事業に取り組みました。

- ・ 利用登録者数 47 名 (年 21 回、延べ 859 食提供)
- ・ 調理ボランティア 9 名 (活動延べ人数 145 名)
- ・ 配達ボランティア 12 名 (活動延べ人数 221 名)

ウ ここかむ食堂 (コミュニティ食堂) ボランティア (再掲 P9)

- ・ 昼ここかむ食堂 11 回 (活動延べ人数 182 名)
- ・ 夜ここかむ食堂 23 回 (活動延べ人数 108 名)

エ 施設訪問ボランティア

傾聴ボランティアやはば「柚子の会」は、毎月の定例会で研修や事例研究などを行うとともに、施設や一人暮らし高齢者の集いで傾聴活動に取り組みました。

- ・ グランドホームまごのて 13 回 (活動延べ人数 25 名)
- ・ ゆり花の集い 10 回 (活動延べ人数 15 名)

オ おでかけ送迎サービスボランティア

高齢や障がいなどの理由で移動に車いすが必要な方を対象に、スロープ付きで車いすに座ったまま乗車することのできる福祉車両を使用し、ボランティアによる送迎サービスを行いました。

※令和5年12月からは送迎車両の入れ替えに伴い休止中。

- ・ 利用登録者数 8名
- ・ 送迎ボランティア 8名（活動延べ人数47）

4 高齢者福祉関係

町内における福祉活動やボランティアの充実により、町民誰もが公平に福祉サービスが受けられること、誰もが安心して暮らすことができる地域を創造すること、誰もが福祉の担い手となって住みよい地域が創り出されることを目標として、在宅福祉を支えるボランティアの育成と住民ネットワークの連携強化に取り組みました。

(1) おげんき見守りシステム事業

一人暮らし高齢者等が一日1回指定の電話番号に電話をかけ、音声案内に従い本人の状況に応じた番号（元気→「1」、悪い→「3」など）を押すと、社会福祉協議会や登録した家族にメールで情報が伝わるシステムを活用し、安否確認を行いました。

【利用者数】 4名

(2) ハローライト利用支援事業

一人暮らし高齢者等を対象に、通信機能を持った電球「ハローライト」を使用したヤマト運輸の見守りサービスの利用料を補助することで、利用のきっかけづくりを行うとともに、サービス利用者に異常があった際の通知先のひとつとして登録してもらうことで、本人の安否確認を行いました。

【利用者数】 1名

(3) ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業「ふれあい弁当」(再掲 P14)

(4) 生きいき教室事業

高齢者の社会参加意欲を高め、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、60歳以上の方を対象とした生きいき教室事業を行いました。

①いきいきウォーキング

期 日 令和5年7月30日、10月26日

場 所 城内山

参加者 29名、20名

②簡単！きれい！メイク・身だしなみ講座、ヘアケア講座

期 日 令和5年11月15日、11月27日

講 師 花王グループカスタマーマーケティング株式会社

参加者 6名、5名

③講話「断捨離で人生の荷下ろし」

期 日 令和6年1月11日、1月25日

講 師 断捨離®トレーナー 大坊 奈津子 氏

参加者 3名、3名

(5) 一人暮らし高齢者の集い（ゆり花の集い）

一人暮らし高齢者の生きがいつくり、仲間づくりや孤立防止を目的として、おでんせハウスを会場に参加者同士の談話や健康チェック、食事、レクリエーション、傾聴活動等を実施しました。

【開催回数・利用延べ人数】年間10回・延べ65名

(6) おつかいサービス事業（再掲 P9）

(7) ねたきり高齢者等理容サービス事業

在宅でねたきりの高齢者を対象に、衛生的な状態と心の健康を保つとともに、介護者の負担を軽減するため、町内理容店の協力を得て、理容店の訪問による理容サービスを実施しました。

【利用者数】3名

(8) 高齢者健康づくり・生きがいつくり事業

老人クラブ連合会と協力し、高齢者の社会参加、健康づくり、生きがいつくりのため、事業を実施しました。

開催日	事業名	場所	出席者
6月22日	ニュースポーツ交流会(身体障害者協議会との合同開催)	矢巾町体育館	28名
6月25日	夏の花いっぱい運動	不動盛岡線沿線	61名
6月30日	夏のいきいきウォーキング	城内山	29名
7月18日	グラウンド・ゴルフ大会(夏)	ラ・フランス	18名
9月15日	矢巾町生きいきシルバースポーツ交流会	矢巾町体育館	224名
9月26日	赤い羽根チャリティーゲートボール大会	町屋内ゲートボール場	24名
10月11日	岩手紫波地区老人スポーツ大会	矢巾町体育館	24名
10月17日	町老連マレットゴルフ交流大会	祝咲喜公園	40名
10月26日	秋のいきいきウォーキング	城内山	20名
11月2日	グラウンド・ゴルフ大会(秋)	ラ・フランス	17名
11月21日	矢巾町老人クラブ輪投げ大会	矢巾町体育館	108名

(9) おでかけ送迎サービス事業(再掲 P15)

(10) 金婚式

永年にわたり地域社会の発展に尽くされ、家庭の繁栄に努めてこられた結婚50周年を迎えたご夫婦を迎えて金婚式典・祝賀会を開催しました。

期 日 令和5年11月22日

場 所 盛岡グランドホテル

参加者 7組14名

内 容 式典、祝賀会(個人・団体によるお祝いの余興、記念品の贈呈)

5 障がい者(児)福祉活動関係

(1) 声の広報発行事業(再掲 P14)

(2) おでかけ送迎サービス事業(再掲 P15)

(3) 障がい者(児)社会参加推進事業

障がい者の社会参加を応援し、健康づくり・生きがいづくりをめざして、矢巾町身体

障害者協議会と協力し事業を展開しました。

- ①バリアフリー映画会への参加
- ②第 42 回矢巾町ふれあい広場への参加
- ③身体障害者協議会・老人クラブ連合会ニュースポーツ交流会（再掲 P17）
- ④矢巾町主催パラスポーツイベントへの参加

期 日 令和 5 年 9 月 16 日

場 所 矢巾町民総合体育館

参加者 3 名

6 児童・青少年福祉活動関係

(1) 福祉教育の推進

①おもいやりの心育成事業

町内保育園、こども園、小・中学校、高等学校に社会福祉協力校（おもいやりの心育成事業）として協力をいただき、世代間交流や募金活動など、社会福祉やボランティア活動への理解を深め、地域社会の連帯意識と奉仕の心を育成するための活動に取り組みました。

保育園、こども園	9 園
小学校	4 校
中学校	2 校
高等学校	1 校

②こんなやさしい町がすき『子ども川柳』

児童生徒の思いを川柳にすることで、感謝ややさしさの気持ちを育むことを目的に、「子ども川柳」を募集しました。町内 3 小学校、2 中学校より 331 名 541 句の川柳が寄せられ、入賞者は第 42 回矢巾町ふれあい広場社会福祉協議会会長表彰式にて表彰しました。

(2) ひとり親世帯を中心とした子育て世帯対象の事業

矢巾町母子寡婦福祉協会と協力し、ひとり親世帯等が孤立することがないように各種活動を展開しました。

①親と子のつどい

町内ひとり親家庭を対象に、親子の触れ合いの機会を持ってもらうことを目的に開催しました。

期 日 令和 5 年 7 月 22 日、令和 6 年 1 月 14 日

参加者 親子 3 組、親子 5 組

場 所 盛岡市動物公園 ZOOMO、鯨と海の科学館（山田町）他

②子どもの居場所「ここかむ食堂」（コミュニティ食堂）（再掲 P9）

③フードパントリー事業

様々な事情から経済的に困りごとのある子育て世帯を対象とし、無料で食料品や日用品を配布しました。提供する食料は、個人や団体、ライオンズクラブ等からの寄付により実施し、当日の配布は矢巾町更生保護女性の会、矢巾町母子寡婦福祉協会が協力しました。

- ・ 令和 5 年 7 月 30 日 19 世帯
- ・ 令和 5 年 12 月 16 日 15 世帯
- ・ 令和 6 年 3 月 16 日 10 世帯

（3）更生保護活動

犯罪をなくし、明るく住みよい社会をつくるため、矢巾町保護司会、矢巾町更生保護女性の会等と協力し活動を展開しました。新型コロナウイルス感染症の第 5 類移行に伴い矯正施設の行事が再開され、夏まつりでの社明運動等、コロナ禍前のように活動を展開することができました。矢巾町更生保護女性の会は、会員が育てた野菜等を持ち寄り販売する「エキナカ産直」を開催し、売上金の一部はフードパントリー事業への寄付（日用品）に活用しました。

①第 73 回社会を明るくする運動

期 日 令和 5 年 7 月 3 日

参加者 保護司 6 名 矢巾町更生保護女性の会 3 名

内 容 JR 矢幅駅ホームに啓発短冊付風鈴の飾りつけ

②朝のあいさつ運動

町内学校等 令和 5 年 7 月 3 日

矢巾中学校、矢巾北中学校 令和 5 年 7 月 21 日、8 月 25 日、9 月 22 日

③学校訪問

町内小中学校 令和 5 年 6 月 20 日、6 月 21 日、6 月 26 日

④少年非行防止等パトロール（矢巾っこすくすくネットワーク）

令和 5 年 7 月 28 日、7 月 31 日、8 月 10 日、8 月 18 日、12 月 25 日、12 月 26 日、令和 6 年 1 月 10 日、1 月 11 日、3 月 14 日、3 月 15 日

⑤フードパントリー事業（再掲 P19）

（４）地域子育て支援拠点事業（町受託事業）

乳幼児の健全な育成と共に、その親の居場所や仲間づくり、安心して子育てができる環境の整備のため、子育て支援拠点事業「うさちゃんのへや」を運営しました。

開催日時 毎週火・木・金曜日 9:30～12:30（年間 148 日）

開催場所 不動児童館

利用者数 年間 723 名（大人 354 名、子ども 369 名）

事業内容 ・ 運動遊び、リズム遊び、創作遊び、親子ふれあい遊び、季節の行事等
・ 子育て等に関する講習会 12 回
・ 子育て等に関する相談 33 件

7 相談・援護活動関係

住民の抱える生活課題は、複雑化・複合化していることから、相談を受け止め、各種分野とのネットワークを活かして専門機関へのつなぐとともに、自立した生活を送ることができるよう各種支援を行いました。また、ひきこもり等により社会的に孤立している人が、社会とのつながりを持つことができるよう、居場所づくりや支援メニューへのコーディネートも行いました。

矢巾町が実施する矢巾町重層的支援体制整備事業の 3 つの柱である①包括的相談支援事業、②参加支援事業、③地域づくり事業を共に展開し、住民のあらゆる困り事に対応できるよう取り組みました。

（１）重層的支援体制整備事業に係る社協の取組み

①包括的相談支援事業

多機関と連携し、様々な理由で生活に困り事のある方の相談、必要な支援を行いました。

ア いわて県央生活支援相談室（岩手県社会福祉協議会）

岩手県社会福祉協議会と連携し、生活困窮者自立支援法に基づき設置された暮らしの相談窓口として、必要な相談事業を行いました。

- ・ 令和 5 年度新規相談 51 件
- ・ プラン（新規、再プラン） 15 件
- ・ 支援調整会議 12 回

イ 生活福祉資金貸付事業（岩手県社会福祉協議会）

貸付相談員を1名配置し、他の貸付制度を利用できない低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯へ、資金の貸付と必要な相談事業を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や減収、失業した世帯を対象とした特例貸付を行いました。特例貸付制度は、令和5年1月から順次、償還が開始されていますが、様々な事情から償還が困難な世帯や住民税非課税世帯等には、猶予や免除の申請を案内する等、継続的な相談支援を行いました。

- ・ 相談件数 延べ176件（新規相談56件、貸付中のケースに関する相談110件）
- ・ 令和5年度貸付け状況

資金の種類	件数	決定金額	備 考
総合支援資金	0件	0円	
福祉資金 福祉費	0件	0円	
福祉資金 緊急小口資金	2件	130,000円	初任給つなぎ 生活保護つなぎ
教育支援資金 教育支援費	1件	1,164,000円	授業料（専門大学校）
教育支援資金 就学支度費	2件	697,000円	入学金等
合 計	5件	1,991,000円	

ウ たすけあい金庫貸付事業

緊急かつ一時的に生活資金が必要な方に対し、生活維持と安定を図ることができるよう貸付を行いました。また、1年以上償還が滞っている方に対して督促を行いました。

- ・ 令和5年度の状況

貸付け件数	0件	0円
償還件数	3件	110,000円

- ・ 貸付け残額（令和5年度末時点）

貸付け総件数と残額	25件	1,059,910円
-----------	-----	------------

エ フードドライブ&サニタリードライブ事業

「特定非営利活動法人フードバンク岩手」と連携し、町民から寄付の協力をいただき、

フードドライブに取り組みました。また、様々な事情でサニタリー用品（生理用品など）の購入が難しい方々に対し、無料で配布を行うサニタリードライブに取り組みました。

食料品は、フードパントリー事業（再掲 P19）や、フードバンク岩手を通じて県内の必要とされる世帯へ届けられ、サニタリー用品については、延べ 65 名に提供することができました。

オ 生活困窮者への生活支援（やはば生活支援ネットワーク事業）（再掲 P8）

カ 暮らしの専門相談所の運営

人権擁護委員、弁護士、行政相談委員、司法書士、民生委員など、住民の相談内容に応じて専門性を生かした相談事業を行いました。

相談種別	開催日	開催時間	相談員	年間相談件数
人権相談	第 1 金曜日	13 : 00～16 : 00	人権擁護委員	1
法律相談	第 2 金曜日	10 : 00～15 : 00	弁護士	73
行政相談	第 3 金曜日	9 : 00～12 : 00	行政相談委員	10
登記・相続	年 3 回	13 : 00～16 : 00	司法書士	10
心配ごと	年 3 回	13 : 00～16 : 00	民生委員	0

キ 社会福祉協議会公式 LINE アカウントによる個別支援

社会福祉協議会を身近に感じ、アクセスしやすい窓口となることを目的として公式 LINE アカウントを開設し、各種情報発信を行うと共に、個別相談等に対応しました。

- ・ 公式 LINE 登録者数 249 名（令和 5 年度末時点）
- ・ 相談内容

内容	年間相談件数
生活相談	36 件
事業の申込に係ること	52 件
ボランティアについて	14 件
その他	17 件

②参加支援事業

コミュニティソーシャルワーカー3名が町主催の地域の居場所「フリースペース」に従事（年24回）し、共に従事する町相談員、NPO法人もりおかユースポート相談員と情報共有を行いながら、ひきこもり等の「狭間のニーズ」を抱えた方の居場所づくりや、ニーズのマッチングを行いました。

③地域づくり事業

生活支援コーディネーターを中心に、「こびりっこサロン」や町による「通いの場体操くらぶ」「エン（縁）ジョイやはばネットワーク」等多様な「地域の居場所」を拡充するとともに、生活支援の仕組みづくりに取り組む等、住民相互のふれあいや社会参加を通じて、安心安全で支え合うことのできる地域づくりに取り組みました。

- ・ 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）
- ・ こびりっこサロン事業
- ・ 地域子育て支援拠点事業うさちゃんのへや（児童館型）（再掲 P20）
- ・ 日常生活たすけあい隊事業（再掲 P9）
- ・ コミュニティ食堂（ここかむ食堂）（再掲 P9）

（2）権利擁護制度による生活支援

①日常生活自立支援事業（岩手県社会福祉協議会・盛岡市社会福祉協議会）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが、自立した社会生活を送ることができるよう福祉サービス利用の援助を行い、利用者の権利擁護に資することを目的として、岩手県社会福祉協議会が実施主体となり、基幹社協である盛岡市社会福祉協議会と協力して事業を行いました。事業の具体的なサービスにあたっては、1名の支援員を配置して支援を行いました。また、広報誌「やはばのふくし」にて、普及啓発に努めました。

【利用者4名】

②成年後見制度の利用促進に関すること

盛岡広域地域連携ネットワーク連絡協議会、矢巾町成年後見人制度促進審議会関係機関との連携により制度の利用促進について情報共有に努めました。また、成年後見制度の普及啓発として、盛岡広域成年後見センターによる出張相談会を年2回開催しました。

【出張相談会実績】 令和5年7月28日2件、令和6年1月25日1件

(3) 地域歳末たすけあい運動（たんぼぼ募金）による生活支援

町民の皆様から寄せられた善意の募金を、民生児童委員との協働により、支援を必要とする方々に届け、安心して新しい年を迎えることができるよう支援を行いました。

【世帯数・金額】

種別	件数（世帯・団体）	金額
高齢者世帯	67 世帯	469,000 円
障がい者世帯	87 世帯	609,000 円
ひとり親世帯	67 世帯	713,000 円
その他	11 世帯	77,000 円
歳末福祉事業	2 団体	20,000 円
合 計	234 件	1,888,000 円